

部局名	財務部	所属名	管財課 工事検査室	所属長名	豊田 実	電 話	483-1151 内線3336
-----	-----	-----	-----------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3060		事務事業名称	工事検査事業					短縮コード	経常	3060	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	09	工事検査費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		地方自治法・八千代市財務規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
地方自治法・八千代市財務規則等に基づいて、契約の適正な履行を確保するため工事検査担当部署が組織的に位置づけられた。 事業概要は、主に市が発注する工事の検査業務等。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
基本的な要綱、要領の見直しを18年度に終了。今後、技術基準、工事評定の公表、又表彰規定等を国・県の改訂と共に見直しを行っていく予定。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
					小項目（施策）	02	健全な財政運営の推進						
					細 項 目	03	長期的な視点に立った財政運営						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	工事請負契約を締結した130万円を超える工事。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 工事担当部長から依頼を受けて、工事請負契約を締結した130万円を超える工事の完了検査、既成部分出来高検査及び中間検査。							
	※平成20年度に計画していること： 平成19年度同様。							
意図 （何を狙っているのか）	契約の適正な履行を確保する。工事目的物の品質確保と向上。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	工事検査執行依頼書受理件数	件	93	100	98	100	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	工事検査報告書作成件数	件	93	100	98	100	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	検査に合格した工事の割合	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3060	事務事業名称	工事検査事業				所属名	管財課 工事検査室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			要領、基準等の見直し、事務のシステム化を順次行い、監督・検査業務を一体的な形として充実させていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			ITを活用することにより、事務量の増加した煩雑な各基準に迅速に統一的に対応できる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
八千代市入札，契約制度検討委員会より，『監督・検査体制を充実し，工事品質の確保と優良工事の増加を図るよう』提言があった。									

所属長コメント	公共施設の整備にあたり、工事技術また品質の確保が求められており、今後も基準等の見直しを実施し、統一された監督・検査体制を充実させていく必要がある。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			IT化等業務プロセスの見直しにより効率性の向上を図るべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									